

産業廃棄物処理計画書	
令和5年6月14日	
愛媛県知事 中村 時広 殿	
提出者	
住 所 愛媛県四国中央市金生町下分130番地	
氏 名 ユニ・チャーム国光ノンウーヴン株式会社	
代表取締役 山内 昭史	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0896583111	
<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	製造グループ国光製造チーム
事業場の所在地	愛媛県四国中央市川之江町834
計画期間	令和5年4月1日 ～ 令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	製造業
② 事業の規模	製品出荷額58億円
③ 従業員数	94名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	発生源：湿式抄紙工程、乾式不織布製造工程 排出物：排水、工程ロス 処理の方法と廃棄物種類： 排水→排水処理（脱水処理）→汚泥（製紙スラッジ） 工程ロス→紙くず 工程ロス→廃プラスチック類 委託処理： 汚泥→中間処理（焼却処理） 紙くず→リサイクル（製紙原料） 廃プラスチック類→リサイクル（固形燃料）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)  
別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	排出量	t	t
①現状	(これまでに実施した取組) 歩留り改善、ロス再生使用率アップでロス排出量を抑制 乾式不織布の耳ロス再生設備導入で廃プラスチック類排出を抑制 排水処理軽負荷時の硫酸アルミ添加抑制でスラッジ重量軽減		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 歩留り改善、ロス再生使用率アップに継続して取り組む 操業計画見直しで運転停止回数を抑制して抄出しロスを削減		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 紙くず白物、色物分別回収で白物紙くずの有価物処理 エアスルー不織布ロス、綿屑の分別回収による処理業者でのリユース化 グループ企業からの資材用梱包材及び製品紙管回収リユース
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 資材用梱包材及び製品紙管回収範囲を更に拡大しリユース量を増加

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) 水分率管理徹底			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) 水分率管理徹底の継続			

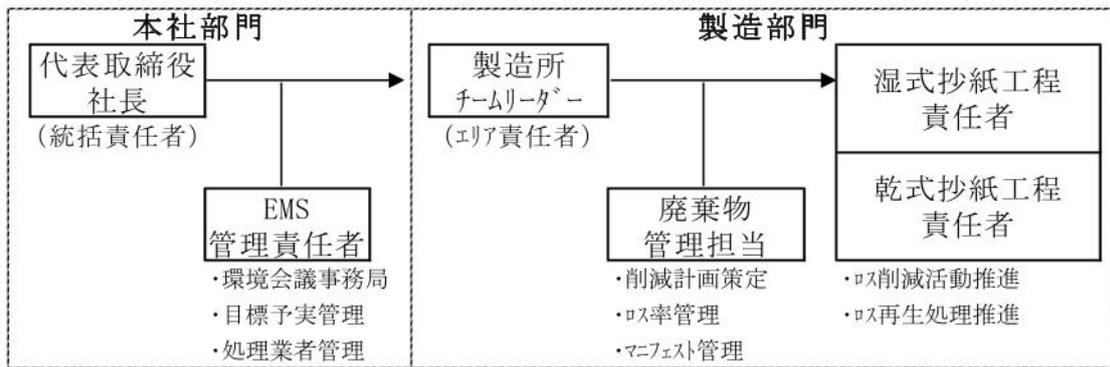
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		
①現状	【前年度（令和4年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙参照
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t t
	(これまでに実施した取組) 該当なし	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙参照
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項		
①現状	【前年度（令和4年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙参照
	全処理委託量	t t
	優良認定処理業者への処理委託量	t t
	再生利用業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t t
	(これまでに実施した取組) 優良認定処理業者への委託処理検討	

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 優良認定処理業者への委託処理検討を継続		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	紙くず	汚泥	廃プラスチック類
	排出量	314 t	9,360 t	522 t
② 計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	紙くず	汚泥	廃プラスチック類
	排出量	300 t	9,120 t	500 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	紙くず	汚泥	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
② 計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	紙くず	汚泥	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	紙くず	汚泥	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	8,580 t	0 t
② 計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	紙くず	汚泥	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	8,360 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	紙くず	汚泥	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	紙くず	汚泥	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	紙くず	汚泥	廃プラスチック類
	全処理委託量	314 t	780 t	522 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	314 t	780 t	522 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	紙くず	汚泥	廃プラスチック類
	全処理委託量	300 t	760 t	500 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	300 t	760 t	500 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t